



# 地元との合意形成

## 地産品 新燃レンガ

### ～都城かわまちづくり～

国土交通省 九州地方整備局  
宮崎河川国道事務所 河川管理課

山口 貴也

## 大淀川

宮崎県の南西部に位置し、鹿児島、熊本、宮崎の三県にまたがる、流域面積2,230km<sup>2</sup>、幹川流路延長107kmの一級河川

## 都城市

人口

約16万人（南九州では鹿児島市、宮崎市に次いで3番目）

面積

653.36km<sup>2</sup>（県内第2位）

交通

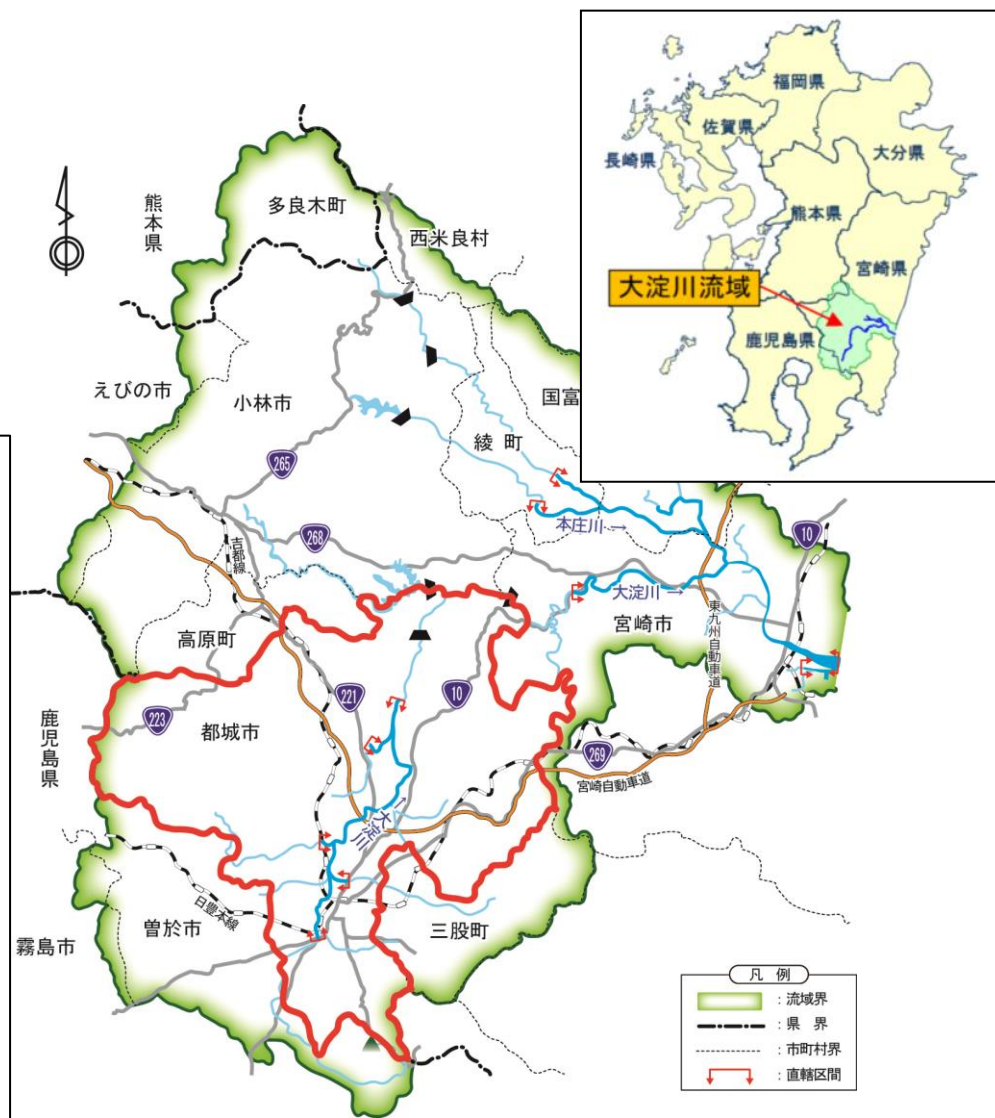
道路 九州縦貫自動車道、国道（5本）

鉄道 JR日豊本線・吉都線

空港 40km内に宮崎空港と鹿児島空港あり

期待

南九州における産業・経済・教育・文化の中心的役割を担う「南九州の広域交流拠点都市」としてのまちづくり



大淀川流域図、都城市の位置図

## かわまちづくりとは

地域の景観、歴史、文化等を活かし、地方公共団体や地域住民との連携の下で、河川空間とまち空間の融合が図られた良好な空間形成を目指す取り組み。

## 都城かわまちづくり

(平成28年かわまちづくり計画登録)

## 背景

- 都城市の中心を流れている大淀川は、都城市民の日常的な散策やジョギング、釣り等で親しまれているほか、カヌー等による水面利用がされている。
- 都城市街部、大淀川上流に位置する整備箇所は、既存の施設として「川の駅公園」があり、スポーツや憩いの場として利用されているが、自転車による利活用等どちらかといえば陸上での利活用の施設となっている。
- その現状から、川を活かした活動の拠点としての期待があり、水辺への安全なアクセスの確保など地域の方々からの声がある。



都城かわまちづくりの位置

### 整備方針

- 整備方針
- ①水辺での憩いの場、賑わいの場の創出
  - ②大淀川が持つ魅力を引き出す
  - ③豊かな水辺環境の継承

河川を利用した新たなシンボル



都城かわまちづくりの各整備ゾーン (H29撮影)

### 組織（体制）

かわまちづくりの検討にあたっては、「みやこんじょかわまち会議(WG)」が具体的な内容を企画・提案・実践し、「都城かわまちづくり検討会」が承認・推進する体制で進めている。（平成26年発足）

#### 【承認・推進組織】都城かわまちづくり検討会（計10回開催）

かわまち整備についての全体的な方針等を検討・承認・推進

（構成員：学識者、漁協、観光協会、自治会長 等）



#### 【実践組織】みやこんじょかわまち会議（計26回開催）

具体的な整備内容、利活用・維持管理の方法等を議論

（構成員：商工会議所、漁協、NPO団体、カヌークラブ、野鳥の会、自治公民館 等）



【事務局（支援組織）】都城市、国土交通省

#### 使用経緯

みやこんじょかわまち会議より  
・ 日常的に利用できる散策路、イベント会場の整備



地産地消の観点から、  
「新燃レンガを使ったかどうか」と声が挙がる



みやこんじょかわまち会議の様子

#### 新燃レンガとは

平成23年1月26日に宮崎県と鹿児島県をまたぐ霧島山の新燃岳より大規模な噴火

大量の火山灰が発生

降灰の処理

火山灰をレンガとして再使用（新燃レンガ）



爆発的噴火状況（H23.1.27）



新燃レンガの写真

#### 特性

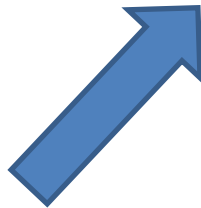
硬質であるため、耐久性があり、長期使用が可能

## 検討会での意見、進め方

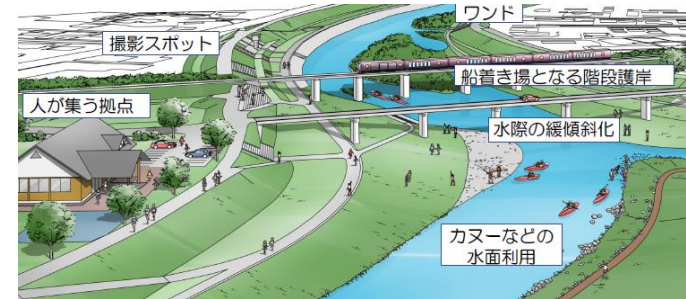
### 新燃レンガについて

「どこに設置する？」  
「配色は？」  
「景観と合うのか」等

議論



平面図



パース図

### 委員の声

- ・平面図やパース図では分かりづらい
- ・他の配色パターンは？
- ・他角度で見たい

- ・イメージが難しい
- ・時間を要する

そこで

**模型や3D**を利用し、**立体的にイメージ**を共有

合意形成

設置箇所、配色の決定！

## イメージの共有方法

### ① 模型を使用した立体的なイメージの共有

- ・ 散策路のルートは？
- ・ イベント会場の場所は？

- ・ 導線（利用者）の確認
- ・ 設置箇所の確認

### ② 3Dを使用した立体的なイメージの共有

- ・ レンガの配色は？
- ・ 現環境と合っている？
- ・ 絵と別角度で見たい

- ・ 配色確認
- ・ 景観との調和



模型を用いた共有



3Dを用いた共有

要望を会議室で即対応、確認可能

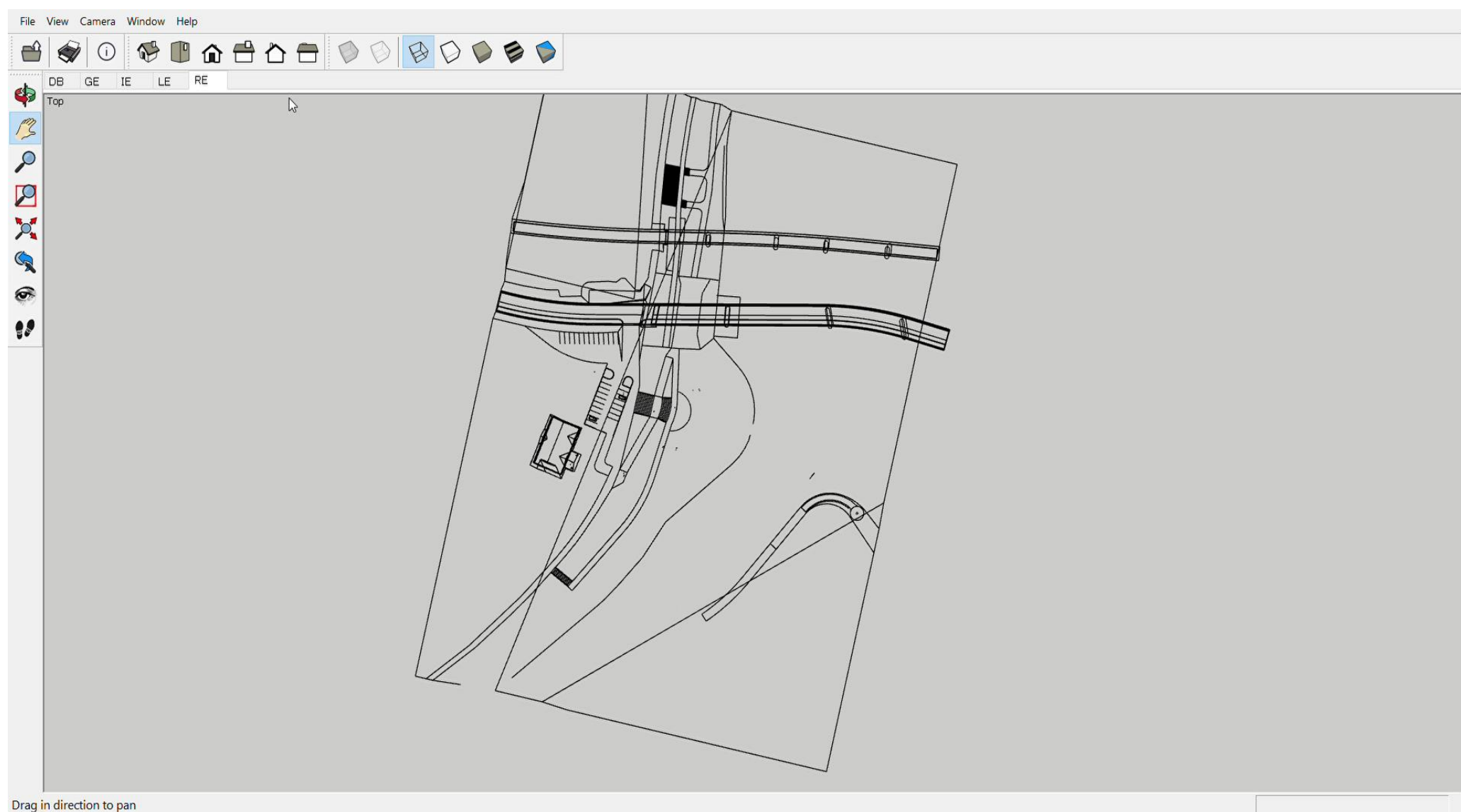
抽象的 → 具体的

### 参加者の感想

- ・ 完成形の形を立体的に見ることができ、イメージが湧きやすかった
- ・ 意見がすぐに反映されるため、話が進めやすかった



## 3Dイメージ



## レンガの配席(イメージの共有)

配色 「⑤RE」を選択。

(設定理由)「レンガのイメージであれば赤系と思う。グレーではレンガだと分かりにくい。」

「景観的には周りが緑色で赤系は補色になるので、コントラストが高く目立つ。」

「川の駅公園」の敷地と同じ配色が好ましい。」



イメージ図

## レンガの配席(イメージの共有)



イメージ図



完成写真

**イメージと合致**

### 新燃レンガ設置の様子

当初は、検討会の委員が設置する予定



**新型コロナウイルスの影響で断念**

**当初からオブザーバーとして参加されていた南九州大学の協力の下、  
大学生によるレンガの設置を行った。**

自分の“夢”、この場所の“今後の展望”を  
新燃レンガにのせて！



新燃レンガ設置の様子

### 体験を通して（皆さんの声）

- ・ 検討から現場（工事）の流れを理解できた
- ・ 河川環境について身近に感じることができた

### 維持管理及び利活用

令和3年度で工事は完了。今後は、日常利用ができるよう、都城市と地元の方による維持管理や河川の利用が行われ、地域の方々をはじめ多くの方々に愛される都城市のシンボルのひとつとなっていきたい



都島歌舞伎橋広場



式典写真

都城市主催による完成式典の様子  
(市長も出席し、当該箇所への期待のあらわれ)